

教科(科目)	数学(数学I)	単位数	4単位	学年(コース)	1学年
	数学(数学A)		2単位		
使用教科書	数研出版「高等学校 数学I」 数研出版「高等学校 数学A」				
副教材等	数研出版「4プロセス 数学I+A」 数研出版「チャート式 基礎と演習 数学I+A」				

1 学習目標

数学I	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
数学A	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 指導の重点

① 基礎・基本の徹底理解。反復演習によって基本事項の習得と技能の習熟を図る。
② 論理的な思考を養う。問題を解決するための手順や計算を理解させ、それらを考察・活用できる力を養う。
③ 確かな表現力の育成。答案などに解答をしっかりと書くようにさせる。

3 学習計画

期間	考査	学習内容(考査範囲)
春季休業	課題考査	課題帳「高校数学へのブリッジ」(東京書籍)
1学期	中間考査	【数学I】 第1章 数と式 第1節 式の計算 1 整式の加法と減法 2 整式の乗法 3 因数分解 第2節 実数 4 実数 5 根号を含む式の計算 第3節 1次不等式 6 不等式の性質 7 1次方程式 8 絶対値を含む方程式・不等式 課題学習
	期末考査	第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 3 2次関数の最大・最小 4 2次関数の決定 第3節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式 6 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7 2次不等式 課題学習
夏季休業 まで		第1章 数と式 第4節 集合と命題 9 集合 10 命題と条件 11 命題とその逆・対偶・裏 12 命題と証明
夏季休業	課題考査	夏季休業中の課題プリント(1学期の授業内容)
2学期	中間考査	【数学A】 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数 3 順列 4 組合せ 第2節 確率 5 事象と確率 6 確率の基本性質 7 独立な試行の確率 8 条件付き確率 課題学習

	期末考査	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 第2節 空間図形 8 直線と平面 9 空間図形と多面体 課題学習 【数学I】 第3章 図形と計量 第1節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 第2節 三角形への応用 4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用 課題学習
冬季休業 まで		第4章 データの分析 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 データの相関 課題学習
冬季休業	課題考査	冬季休業中の課題プリント(2学期の授業内容)
3学期	学年末考査	【数学A】 第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数 1 約数と倍数 2 最大公約数・最小公倍数 3 整数の割り算と商・余り 第2節 ユークリッドの互除法 4 ユークリッドの互除法 5 1次不定方程式 第3節 整数の性質の活用 6 分数と小数 7 n進法 課題学習

4 課題・提出物等

毎週末には週末課題、長期休業中には課題を課す。課題の提出および休業明けに実施する課題考査の結果を成績に加味する。
--

5 評価規準と評価方法

数学I	①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方 ③技能				④知識・理解
	数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てたか。	数と式 数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できているか。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できているか。	二次関数 二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できているか。	図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できているか。	データの分析 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できているか。	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めたか。
数学A	①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方 ③技能・表現				④知識・理解
	数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てたか。	場合の数と確率 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できているか。	図形の性質 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できているか。	整数の性質 整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できているか。	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めたか。	

以上の観点を踏まえ、  
 ・定期考査(中間考査、期末考査)、課題考査、各種小テスト  
 ・週末課題、長期休業中の課題などの提出物  
 などから、総合的に評価する。

6 担当者からの一言

① 「授業」→「復習・質問」の学習パターンを形成し、基本事項を確実に理解しよう！ ② 数学Iと数学Aは2年次以降の数学の基礎となる内容なので、しっかりと取り組もう！
---